

## 田中復興大臣記者会見録

(令和2年8月30日(日) 15:44~15:52 於) ホテル福島グリーン  
パレス2F

### 1. 発言要旨

本日の協議会では、まず、国から復興に向けた取り組み状況を御報告させていただいた後に、内堀知事を含む地元の皆様との意見交換を行わせていただきました。

出席者の皆様からは、第2期復興・創生期間における継続的な支援、移住・定住の促進に向けた取り組みの推進、特定復興再生拠点区域外の避難指示解除に向けた方針の明確化、情報発信・観光復興の推進等による風評払拭・風化防止対策の強化、国際教育研究拠点の構築に向けた予算・人員体制の確保、ALPS処理水の取り扱いに関する風評対策など、幅広い御意見をいただいたところでございます。

また、最後に知事から、市町村ごとに復興のステージが異なること及びウィズコロナ、ポストコロナ時代への対応の必要性について共有したいとの御発言がありました。

地元の皆様からいただいた御要望をしっかりと受けとめ、来年度予算要求へ反映していくとともに、今般改正されました福島復興再生特別措置法等や、7月に決定した財源フレームに基づいて、第2期復興・創生期間においても、対応が必要な事業を確実に実施できるよう、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

最後になりますが、一昨日に安倍総理が辞任の意向をお示しになりました。総理の強いリーダーシップの下、政府一丸となって復興に取り組んでまいりました。今後も復興の歩みを一時も止めることなく、万全を期してまいりたいと存じます。

以上でございます。

### 2. 質疑応答

(問) 今回、意見を出された市町村、県から出された意見について、特に大臣として重要に思われた点、そして、9月末に締め切られる概算要求、しっかりと取り組んでいくことということですが、改めてこちらに向けた考え方を教えてください。

(答) 知事から最後の締めくくりの御挨拶としてお話しになりました。自治体ごとに特徴や違いがあり、このことについてしっかりと国が受けとめていただきたい、きめの細かい対応をしてほしい、このことが大きな重要なお話であったと思っております。

また、ウィズコロナ、ポストコロナについても、本当に予期しなかった事態が起こっておるわけございまして、この福島の地に

おいても、まだまだ多くの感染者の方がいらっしゃるわけですし、これからも多分そういう方が出てこられるだろうと思っております。そういう社会環境の中でもしっかりと復旧・復興を進めていくということは、今までとは同じではない、違った角度でさらに緊張感を高めて頑張っていかなければならない、この思いを感じておるところでございます。

以上でございます。

(問) 先ほど、復興拠点外の避難指示解除について意見があったというふうにお話しされていましたが、今、どのようにして解除に向けてお考えになっていらっしゃるのか。とりわけ、今日、経済産業大臣が時間軸という言葉をおっしゃっていましたが、そういう時間軸を今後明確にしていくという予定でのお考えはあるのでしょうか。

(答) 帰還困難区域については、たとえ長い年月を要するとしても、将来的に帰還困難区域の全てを避難指示解除し、復興再生に責任を持って取り組むという決意の下で、まずは特定復興再生拠点区域の整備を進めさせていただいております。

拠点区域外については、これまでも地元の皆様方から強い御要望をいただいております、大変重く受けとめておるところでございます。

昨年12月の基本方針においては、地域の実情や自治体の要望等を踏まえて、今後の政策の方向性について検討を進めることとしておるところでございます。

私どもも、この点については、たび重ねて皆様方からのお話がございますので、私どももその期待にしっかりと応えていけるように努力させていただきたい、検討を遅らせることがないようにしっかり進めてまいりたい、このように思っておるところでございます。

以上でございます。

(問) 福島第一原発のALPS処理水について伺いたいのですが、自民党のほうからも、それから地元のほうからも、政権として早く判断すべきであるというようなことを言われています。安倍政権も数日で、数日なのかわからないのですが、終わりますけれども、この政権下で決めることができるのかどうか、あるいは次期政権にこの課題については委ねざるを得ないのか、田中大臣としてはどのような御判断でしょうか。

(答) 今、処理水の取り扱いについては、松本経産副大臣を座長とします御意見を伺う場にて、復興庁からもこちらに同席しております横山副大臣が出席させていただいております、政府一体となって関係者の御意見を伺っておるところでございます。引き続き

関係者からの御意見を伺った上で、今後、政府として結論を出していくもの、このように承知しておるところでございます。

これは安倍総理の今回の御勇退の話と、次の政権ということでございますから、そう簡単な話ではございませんし、地元の御意見もまた継続して伺っているところでございますので、今後、これは引き続いて対応しなければいけない、このように思っておるところでございます。

ありがとうございました。

(以 上)